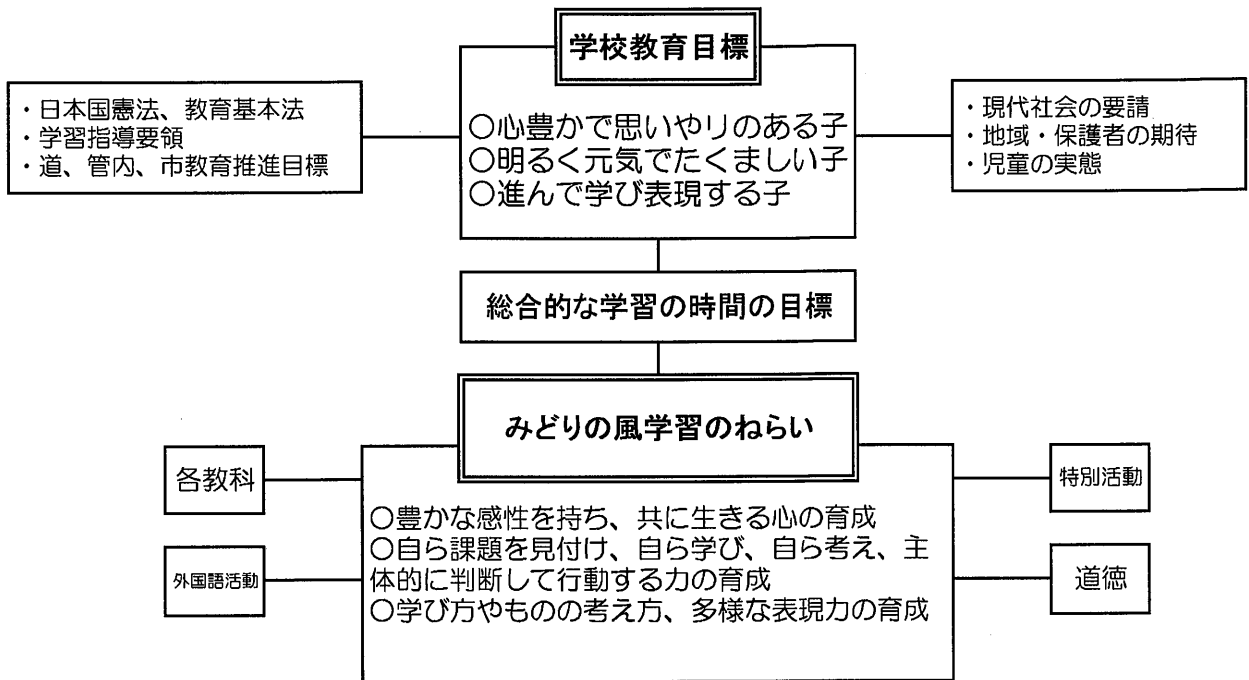


みどりの風学習(総合的な学習の時間)の全体構造図



各学年の目標			
第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
お年寄りとの交流を通して、お年寄りの健康や暮らしを知り、共生について考える	石狩市の自然・施設・人などの調査を通して、石狩市の素晴らしさに気づき、これからの石狩市について考える。	森とのふれあいを通して、森林の役割について調べ、森林保護の現状や課題に気づく。	世界の国々について調べたり国際交流を行うことを通して、世界の人々と私たちとのつながりについて考える。

各学年のテーマ・学習内容			
第3学年「福祉」	第4学年「地域」	第5学年「環境」	第6学年「国際理解」
<ul style="list-style-type: none"> ○お年寄りとの交流学習 ○手話学習 ○英語学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの住む石狩市調べ ○手話学習・車椅子体験 ○英語学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○森林学習・宿泊学習 ○手話学習・アイマスク体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○諸外国調べ、国際交流 ・修学旅行 ○手話学習・ボランティア体験

学習活動	指導方法	指導体制
<ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動を効果的に行う ・人との関わりから学ぶ活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を継続させる支援 ・言語活動の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域施設、人材の効果的活用 ・外部講師との連携、全職員による支援

学習の評価
<p><評価の観点> ・自己の生き方 ・コミュニケーション力 ・主体的、創造的な態度 ・課題設定力 ・問題解決力</p> <p>・情報活用力 ・表現力 ・学び方、ものの考え方</p>

1. 「みどりの風学習」で育てたい能力と資質・ねらい

学習指導要領に定められている総合的な学習の時間のねらいは次の2点である。

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。

このねらいを踏まえ、本校の教育目標を受けて、「みどりの風学習」において育てたい能力と資質を、

- 心豊かで思いやりのある子 →豊かな感性、想像力、他を思いやる心
- 明るく元気でたくましい子 →人と関わる力、コミュニケーション力
- 進んで学び表現する子 →関心・意欲・態度、思考力、判断力、表現力

と設定した。上記の育てたい能力と資質から「みどりの風学習」のねらいを次の3点に定める。

- ・豊かな感性を持ち、共に生きる心の育成
- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動する力の育成
- ・学び方やものの考え方、多様な表現力の育成

2. みどりの風学習の領域

「みどりの風学習」のねらいを受け、本校では次の領域で「みどりの風学習」を進める。

領域①：学年テーマ学習〈福祉、地域、環境、国際理解〉

領域②：共生教育〈手話学習など〉

領域③：国際理解教育〈英語学習など〉

- ・①については各学年ごとに設定されたテーマのもとに学習を進める。
- ・②については、手話学習を中心に各学年で取り組む。

・③については3、4学年で英語学習に取り組む。(5、6年生は外国語活動)

※1・2年生についても、みどりの風学習に向けて②、③の活動を余時数を活用して生活科の時間に実施する。

3. 各学年のテーマと目標

学年	テ ー マ	目 標
3年	共に生きる	お年寄りとの交流を通し、お年寄りの健康や暮らしを知り、共生について考える
4年	私たちの住む 石狩市	石狩市の自然・施設・人などの調査を通して、石狩市の素晴らしさに気づき、これからの石狩市について考える。
5年	みどりの森	森とのふれあいを通して、森林の役割について調べ、森林保護の現状や課題に気づく。
6年	私たちと世界	世界の国々について調べたり国際交流を行うことを通して、世界の人々と私たちとのつながりについて考える。

4. 各学年の領域ごとの配当時間

領 域	3年	4年	5年	6年
学年テーマ学習	福祉 45	地域 45	環境 55	国際理解 55
共生教育	15 (手話2)	15 (手話2)	15 (手話2)	15 (手話2)
国際理解教育	10 (英語 10)	10 (英語 10)		
合 計	70	70	70	70

5. 「みどりの風学習」の評価について

次の観点の中から児童の取り組みをもとに、1～2つの観点で評価をする。

<評価の観点>

- ・自己の生き方 ・コミュニケーションの力
- ・主体的、創造的な態度 ・課題設定の力 ・問題解決の力
- ・情報を活用する力 ・表現力 ・学び方、ものの考え方

手話出前講座について

2016. 5. 18
教務部 教育課程係

1. ねらい

- (1) ろう者の存在を知り、手話に親しむ。
- (2) 他者を受け入れ、理解しようとする態度を育む。

2. 内容

学年	時間		内容	実施学級	
1年生	1回目	6月21日	オリエンテーション	1の1	1の2
	2回目	6月22日	手話の体験・活動	1の1	1の2
2年生	1回目	7月11日	オリエンテーション	2の1	2の2
	1・2	7月12日	オリエンテーション 伝え合ってみよう	2の3	2の1
	2回目	7月13日	伝え合ってみよう	2の2	2の3
3年生	1回目	10月12日	手話の世界を知ろう	3の1	3の2
	2回目	10月13日	手話で自己紹介	3の1	3の2
4年生	1回目	11月9日	聞こえないってどんなこと	4の1	4の2
	1・2	11月10日	聞こえないってどんなこと 手話で表現してみよう	4の3	4の1
	2回目	11月11日	手話で表現してみよう	4の2	4の3
5年生	1回目	11月21日	手話で表現してみよう（グループワーク）	5の1	5の2
	1・2	11月22日	手話で表現してみよう（グループワーク） グループディスカッション（ロールプレイ）	5の3	5の1
	2回目	11月24日	グループディスカッション（ロールプレイ）	5の2	5の3
6年生	1回目	12月12日	手話で表現してみよう（まとめ）	6の1	6の2
	1・2	12月13日	手話で表現してみよう（まとめ） グループディスカッション	6の3	6の1
	2回目	12月14日	グループディスカッション	6の2	6の3

①年間行事予定をもとに計画し、市の障がい支援課と調整済みです。ろう者の方や手話通訳者の希望により、1日2時間で3・4時間目の授業を基本に計画しています。中休みに図書室に来校されるので、3時間目の学級は中休み後にお迎えに行ってください。4時間目の学級は職員室まで同行していただきたいと思います。

②3時間目 10:30~11:15 4時間目 11:20~12:05ですが、11月21日（5の1・5の2）のみB日課なので3時間目 10:20~11:05、4時間目 11:10~11:55となります。

③来校される方は、講師のろう者の方1名と手話通訳者1~2名、授業内容によって障がい支援課の方も来ます。

④児童の名前がわかるように、名札を準備ください。どのようなものでも結構です。

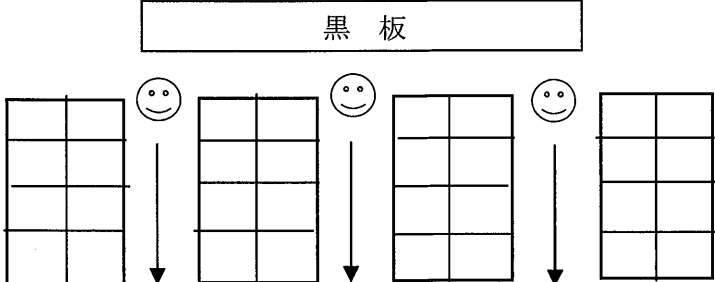
⑤指導計画については別紙にありますが、今後変更になった場合は当該学年にお知らせします。

手話についてのオリエンテーション【講話】 1年生 1回目 (生活科)

項目	講話・講義編
ねらい	耳の聞こえない人(ろう者)の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	①手話・ろう者についての講話(15分) ・聞こえないってどんなこと ・聞こえない人には色々な人がいます ・聞こえない人の暮らし ②真似をして伝えてみよう(15分) ・絵カードを見て真似してみよう ③手話であいさつ(5分)
準備するもの	絵カード
概ねの時間	40分程度
摘要	絵カード例 (動物) さる、キリン、犬、牛 (食べ物) バナナ、ミカン、トウキビ

手話の体験・活動 1年生2回目 (生活科)

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人(ろう者)の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	①身振りで伝えてみよう(15分) 講師が絵カードをみせて、2人ペアで相談しながら、体を使って表現をしてみる ②手話伝言ゲーム(20分) ・相手の表現をそのまま真似をして次の人に伝えてみる
準備するもの	絵カード
概ねの時間	40分程度
身振りで伝えてみようの絵カード	①身振りで伝えてみよう絵カード例 (動物) ねこ、ゾウ、ゴリラ、ペンギン (食べ物) お寿司、ラーメン、スイカ、 ②手話伝言ゲームで使うカード ※子どもにカードを選ばせる ・ソフトクリーム、風船、なわとび、スキー、剣道、水泳、けんだま

<p>伝言ゲームの並び方</p>	<p>・伝言ゲームでは児童を起立させ、下の図のように机と机の間に並んでもらう。整列の際、子どもたちは黒板を背にする。列は3～4列。身振り手振りで伝えることの難しさ、同じように表現しなければ意味がかわることを実感させる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・講師が伝える言葉を声に出さず、身振り手振りで伝言する</p>
------------------	--

手話についてのオリエンテーション【講話】 2年生 1回目 (生活科)

項目	講話・講義編
ねらい	耳の聞こえない人(ろう者)の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①手話・ろう者についての講話(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞こえないってどんなこと ・聞こえない人には色々な人がいます ・聞こえない人の暮らし <p>②真似をして伝えてみよう(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを見て真似してみよう <p>③手話であいさつ(5分)</p>
準備するもの	絵カード
概ねの時間	40分程度
摘要	<p>絵カード例</p> <p>(動物) さる・ゴリラ・オラウータン ソウ・キリン</p> <p>(食べ物) バナナ・ミカン スイカ・トウキビ</p> <p>(麺類) ラーメン・うどん・そば・スパゲティ</p> <p>※1年生と2年生は、絵カードで違いをつける</p>

伝えあってみよう 2年生2回目 (生活科)

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人(ろう者)の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①身振りと手話の違い(15分)</p> <p>例) ~したい。~と思う。~終わる。</p> <p>②伝えあってみる(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人ペアになって、自分の好きな食べ物、飲み物等を身振りで表現してみる。
概ねの時間	40分程度

手話の世界を知ろう【講話】 3年生 1回目

項目	講話・講義編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	①手話・ろう者についての講話（10分） ・聞こえないってどんなこと ・聞こえない人には色々な人がいます ②聞こえない人の暮らし（5分） ③身振りと手話について（5分） ④指文字（5分） ⑤手話であいさつ（5分） ※活動
準備するもの	フラッシュライト・絵カード
概ねの時間	20分～40分
摘要	②聞こえない人の暮らし ・フラッシュライト ・音なしでDVDのアニメを見せる ※アニメはドラエモン ③身振りと手話について 身振りの限界を知ってもらう ④指文字

手話で自己紹介【グループワーク】 3年生2回目

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	①手話での挨拶と自己紹介の説明（15分） 挨拶、学校名、学年、手話の表現の由来を教える ②グループに分かれて、自分の名前表現を覚える（10分） あなたの名前は何ですか？ 私の名前は、〇〇です。 ③クラスのみんなの前で2人ペアになって、自己紹介を試みる（15分）
概ねの時間	40分程度

聞こえないってどんなこと？ 4年生 1回目

項目	講話・講義編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義者の担当	ろう講師
内容	<p>①講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろう者・手話・日常生活の講話の振り返り（5分） ・日常生活場面におけるロールプレイ（5分） <p>②ろう学校の話（10分）</p> <p>話題例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験談 ・ろう教育の話 ・口話法、読話法の習得する必要があり、手話が認められなかった。 ・普通教育の学びの遅れ <p>③聞こえないを体験（10分）</p> <p>④手話であいさつ</p>
概ねの時間	40分
	<p>聞こえないを体験</p> <p>例 水・見る 犬・イス サル・ザル 馬・熊 からだ・サラダ おやつ・おかず 傘・朝</p> <p>1回目 講師が見本をみせる 2回目以降 児童に前に来てもらってやってもらう</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活場面におけるロールプレイ 道を歩いてカギを落とす <p>※ エレベーターの話、相手を指さす、肩を叩く、</p>

手話で表現してみようⅡ 4年生 2回目

自己紹介、趣味を手話で表現

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①手話での挨拶の振返り（3年生の振返りを含めて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と定型文の説明・今日の流れ（全体）（5分） <p>②好きな事（スポーツ、趣味など）の表現をしてみる（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの得意なスポーツは何ですか？ ・あなたの苦手なスポーツは何ですか？ ・あなたの趣味何ですか？ <p>全体で絵カードを使って、スポーツ、趣味の表現をしてみる。</p> <p>③グループになって、自己紹介と好きな事を表現してみる（20分）</p> <p>ア 自分の名前と好きな事を講師、通訳がフォローしながら教える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の名前は、～です。 ・私は、～（スポーツ、趣味など）が好きです。 ・私は、～（スポーツ、趣味など）が得意・苦手です。 <p>イ グループ内で2人ペアになって表現してみる</p>
概ねの時間	40分程度
絵カード	<p>○スポーツ サッカー、野球、水泳、新体操、</p> <p>○趣味 読書、ピアノ、ダンス、ゲーム、カード集め</p>

手話で表現してみようⅢ【グループワーク】 5年生1回目

住所・将来の夢などについて手話で表現してみる

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①講義（導入）（5分） 将来の夢について、手話で表現してみます。</p> <p>②将来の夢を表現してみよう（25分） ア 紙を配布し、将来成りたい職業を記入してもらおう。（3分くらい） イ 子ども達を書いた職業を聞いて、講師が手話で表現する方法を教える（7分くらい） ウ 表現の説明（講師と通訳でモデルを見せる） ・あなたの将来の夢は？どんな仕事をしたいですか？ ・私は、～になりたいです。 （ア）質問 あなた＋将来＋仕事＋希望＋何？ （イ）答 私＋将来＋仕事＋したい。 エ グループになって、2人ペアで将来の夢について、お互い質問してみる（15分くらい） ※講師と通訳がフォローして教えていく</p> <p>③みんなの前で発表してみる（10分）</p>
概ねの時間	40分程度
絵カード	<p>○住所 北海道、石狩市、花川北、花川南、花川東、樽川、花畔、緑苑台、厚田、浜益、生振、親船</p>

手話で表現してみようⅢ【グループワーク】 6年生1回目

住所・将来の夢などについて手話で表現してみる

項目	体験・活動編
ねらい	耳の聞こえない人（ろう者）の存在を知り、コミュニケーションの方法として手話などに親しむ。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①講義（導入）（5分） 将来の夢について、手話で表現してみます。</p> <p>②将来の夢を表現してみよう（25分） ア 紙を配布し、将来成りたい職業を記入してもらおう。（3分くらい） イ 子ども達を書いた職業を聞いて、講師が手話で表現する方法を教える（7分くらい） ウ 表現の説明（講師と通訳でモデルを見せる） ・あなたの将来の夢は？どんな仕事をしたいですか？ ・私は、～になりたいです。 （ア）質問 あなた＋将来＋仕事＋希望＋何？ （イ）答 私＋将来＋仕事＋したい。 エ グループになって、2人ペアで将来の夢について、お互い質問してみる（15分くらい） ※講師と通訳がフォローして教えていく</p> <p>③みんなの前で発表してみる（10分）</p>
概ねの時間	40分程度
絵カード	<p>○住所 北海道、石狩市、花川北、花川南、花川東、樽川、花畔、緑苑台、厚田、浜益、生振、親船</p>

手話で表現してみようⅢ【グループワーク】 5年生2回目

日常生活におけるロールプレイを体験して、グループディスカッション

項目	「私たちにできること」
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・耳の不自由な人について知り、相手を思いやり理解しようとする態度を身につける。 ・課題解決に向けて自分のできることを考え、行動しようとする態度を身につける。
講義の担当者	ろう講師
内容	<p>①講義（導入）（5分） 日常生活において、ろう者は、不便を感じることもあるが、聞こえる人は何ができるかを考える。</p> <p>②ロールプレイ（全体24分）</p> <p>ア 地下鉄場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えてみる（3分） ・グループディスカッション（5分） ・グループ毎の発表（4分） <p>イ 災害時の避難所の場面設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えてみる（3分） ・グループディスカッション（5分） ・グループ毎の発表（4分） <p>③ロールプレイに対する講師からのコメント（3分）</p> <p>④それぞれで振り返りを記載（6分）</p> <p>⑤時間があれば振り返りを、2・3人に発表してもらおう（3分）</p> <p>⑥2日の授業を通じての振り返り（2分）</p>
概ねの時間	40分程度
用意するもの	ワークシート（学校と協力して作成）

みんなで考えてみよう【グループワーク】 6年生2回目

地域社会で暮らす少数の人のことを考えてみる

項目	グループワーク
ねらい	手話という言語を話す少数の人立場にたって、他者への理解や共に暮らしていくためには何が必要かを考える
講義の担当者	聴講師・ろう講師
授業形態	教室でグループ（1班、5、6名編成）の形態
内容	<p>聞こえる講師の担当</p> <p>（説明）（5分） 目で会話する人の国の中で、あなたは声で話す少数者として、生活しています。学校でも普段の暮らしでも大変なことが色々あります。</p> <p>②グループワーク</p> <p>質問1 ア「目で話をする国で暮らした感想」をそれぞれ、考えて書いてもらう。（2分） イ グループ毎に意見交流（3分）</p> <p>質問2</p> <p>講義 質問2への導入説明（3分） ア「目で話をする人にあなたはどんなことを望みますか？」をそれぞれ、考えて書いてもらう。（2分） イ グループ毎に意見交流（3分）</p> <p>質問3</p> <p>講義（導入）（1分） ア「目で話をする人と声で話をする人は、お互いどんな考えを持つことが必要でしょう」という質問に、それぞれ考えを書いてもらう。（2分） イ グループ毎に意見交流（3分） ウ グループ毎の意見を発表（3分）</p> <p>ろう講師の担当</p> <p>ア コメント グループ毎の発表へのコメントや目だけで会話する人の国の中で起きていることは、実際のろう者が感じていることであり、目で話す人と声で話す人は、お互いの違いを理解した上で、暮らしていく大切さを伝える</p> <p>振返りの記入</p>

	2日間を通じた振り返りを記入
概ねの時間	イ 振り返りを2, 3人に発表してもらう。 最後 2日間を通じた振り返りをする。(1分) 40分程度
用意するもの	ワークシート